

# ショートテニス大会開催に向けてのガイドライン

明石ショートテニス協会

## 1. はじめに

本ガイドラインは、新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁、日本スポーツ協会から示された各種の指針や、感染症対策専門家会議での状況分析や提言を踏まえて、ショートテニス競技における大会・教室・講習会・研修会等再開に当たっての基準と再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点について、明石ショートテニス協会がまとめたものです。

なお、本ガイドラインの感染拡大予防策は、現段階で得られている専門家等による知見に基づき作成しています。今後の状況により、逐次見直すこととします。

## 2. 大会や教室等イベントの再開に当たっての基本的な考え方

普及活動の再開にあたっては、「三つの密」の回避や、「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」「大声の抑制」「スタッフの体調管理」といった感染拡大を防止する策を徹底して講ずることとします。

大会・教室等への参加者に対しては、当日の検温、体調チェック、行動管理等、感染予防に関する事前の周知を徹底することとします。また、参加者名簿を作成して連絡先を把握するとともに、接触確認アプリ利用を促すなど、感染拡大防止に努めることとします。

なお、2021年2月末までの大会や講習会等の参加人数（規模）については、11月12日に発出された「内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡（以下、「内閣官房事務連絡」）」による催物の開催制限等を踏まえ、適切に判断して実施することとします。

## 3. 大会・教室等開催・実施時の感染防止策について

### (1) 参加者募集時の対応と注意喚起

主催者として、参加者に求める感染拡大防止のための処置

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせるように確認する。
  - ア、体調がよくない場合（特に発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスク等を持参すること（参加受付時やスポーツを行っていない際や会話をする際には、必ずマスク等着用すること。（マスク等とは、口、鼻をガード出来、装着できるもの）
- ③ 受付時、体温チェック、健康チェック、を実施することに同意すること。
- ④ 常にこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑤ 大会会場への出入り、トイレに行かれた場合は、必ず手洗い、消毒を実施すること。
- ⑥ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離は、最低1mは確保するように注意すること。
- ⑦ 大会・教室等参加中は、大きな声で会話、応援等はしないこと。
- ⑧ 感染防止のために主催者が決めた、その他の措置を遵守、主催者の支持に従うこと。
- ⑨ 大会主催者、スタッフ、関係者、出場者以外は会場に入れないこと。
- ⑩ 参加者の応援、引率の方等は、観客席でマスク着用し三密を避けること。
- ⑪ 上記感染防止処置に従わない人や主催者の指示に従わない人は失格、退場していただくこと。

⑫ 大会・教室等終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、大会開催・実施するための以下に配慮して受付事務を行う。

- ① 窓口には、消毒剤を設置すること。
- ② 発熱が軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある人は、参加辞退を呼び掛けること。  
(体温チェック・健康チェックの実施)スタッフ全員マスク等の着用。
- ③ 参加者が距離を置いて並ぶように目印の設置等を行うこと。
- ④ 受付場所での書類の記入、受け渡し、金銭授受等はできるだけ簡素化し混雑を避けること。

(3) 大会・教室等参加者への当日対応

主催者として、参加者の体調の確認を含め参加者の情報を、主催者が保存できる形で提出を求める必要があります。

- ① 参加者の氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)※個人情報の取り扱いに注意
- ② 大会当日の体温
- ③ 大会前2週間における以下の健康チェック項目の有無
  - ア) 平熱を超える発熱                      イ) 咳、のどの痛みなど風邪の症状
  - ウ) だるさ(倦怠感)、息苦しさ              エ) 嗅覚、味覚の異常
  - オ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - カ) 同居親族や身近な知人に感染が疑われる方がいるか
  - キ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(4) マスク等の確認

主催者は、関係者、スタッフ、参加者及び引率者・応援者等が、マスクを準備・着用しているか確認する。

(5) 三密の防止

主催者は、大会に参加する個人、グループは、試合中以外でも三密を避け、会話時は必ずマスクを着用するよう周知徹底する。

(6) 大会中の飲食について

主催者は、飲食について参加者等に以下の点に配慮するよう要請する。

- ① 飲食をする場合は、会話を避け、1m以上間隔をあけて向き合って飲食しないこと。
- ② 飲食物は、個々に用意しておくこと。
- ③ 必ず、手洗い消毒を行ってから食事をする。

(7) 主催者の消毒等の準備について

主催者は、手洗い場所の確認と案内を行い、こまめに手洗いが出来るように石鹸(ポンプ式)を準備する。

- ① 「手洗いは、30 秒以上」等を掲示、案内すること。
- ② 手洗い後に手を拭くためのペーパータオルを用意すること。
- ③ 会場入り口、各コート、本部その他必要なところに、消毒剤を用意すること。

(8) 参加者に対する、会場(試合中を含む)の注意喚起

主催者は、参加者等に対し、海上における注意事項について周知徹底する。

- ① 会場の出入りの際は、必ず消毒剤で消毒する。
- ② 試合中以外はマスクを必ず着用する。(審判をする場合もマスクを着用する)
- ③ トイレに行かれた場合は、必ず「手洗い・消毒」をすること。
- ④ 試合前に消毒剤で、指、手の消毒をしてから行う。
- ⑤ 試合ごとに用具の消毒を行い、用具・タオル等を複数人で使用、共有しないこと。
- ⑥ 試合開始前の挨拶は、コート中央のライン上に間隔を開け立ち、挨拶すること。
- ⑦ 握手、プレー中の選手同士のタッチ等は避けること。会話等は間隔を空けて行うこと。
- ⑧ 受付後、試合中であっても、体調不良など風邪症状を感じた場合は、必ず申し出ること。
- ⑨ 試合中であっても、咳、くしゃみが続く場合は、タイムをとり、様子を見て審判の判断に従うこと。

(9) 会場設営について

主催者は、大会・教室等会場内の以下の点に配慮する。

- ① 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。
  - ア) 換気設備を適切に運転すること。
  - イ) 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の喚起を行うこと。
- ② 飲食を含め発生したゴミ(飲み残し、食べ残しも含む)は、必ず各自で持ち帰ること。
- ③ 最後の清掃は、マスクや手袋を着用して行い、発生したゴミは、ビニール袋に入れて、密閉して縛り持ち帰ること。
- ④ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸で手洗いし手指を消毒すること

(10) 大会・教室等の進行について

主催者は、大会・教室等の進行について以下の点に配慮する。

- ① 参加者の体調不良等(咳やくしゃみ、風邪の症状)が見受けられた場合、審判の判断により試合を中断することができる。
- ② 大会役員は、参加者の体調不良や風邪の症状がみられ、咳やくしゃみ等が続くような場合は、主催者として、その方を失格・退場させることができる。

(11) 観客、応援者

主催者は、引率者・応援者等に対し、以下の点を要請する。

- ① 大会参加者以外は、観客席で応援、観覧すること
- ② 観客席で、密状態にならないようお互いが注意しあうこと。  
座席は前後左右席を必ず空けて座ること。
- ③ マスクを着用し、大きな声は出さないこと。
- ④ 立って応援しないこと。

(12) その他

- ① 役員、関係者、スタッフ、参加者、応援者含む全ての方が、コロナ感染防止策を理解し予防に努める。
- ② 当日であっても、新型コロナウイルス感染症等の流行により、会場管理者や役員、スタッフ等の判断で大会中止を検討する。

(13) 補足

主催者は、教室・大会等実施する上での試合実施方法を定める。

- ① 試合開始前には、必ず手指をアルコール消毒する。
- ② 開始の挨拶は、コートを挟んで中央ラインで向かい合って、同一チームの選手は横1列で間隔を開けて整列をして開始する。審判は所定の位置に立つ。

○副審(得点)

△			□
△			□

◎主審

試合開始の挨拶は一礼しラケット相手側に斜めに上げて、握手や大きな声を出さないようにする。会話程度の「よろしくお願ひします」程度は良いと思います。

- ③ 試合中以外はマスクを着用しておこなう。
- ④ 大声を出さないようにする、チーム内の声掛け等は接近せず、話し声程度で行う。
- ⑤ 試合終了時は、開始前と同じように整列、審判による結果を聴くと共に、一礼する。「ありがとうございました。」くらいの言葉で、大きな声でなく話し言葉程度とする。
- ⑥ 終了時には、再度全員が手指のアルコール消毒を行う。  
ボールの消毒を行う。